

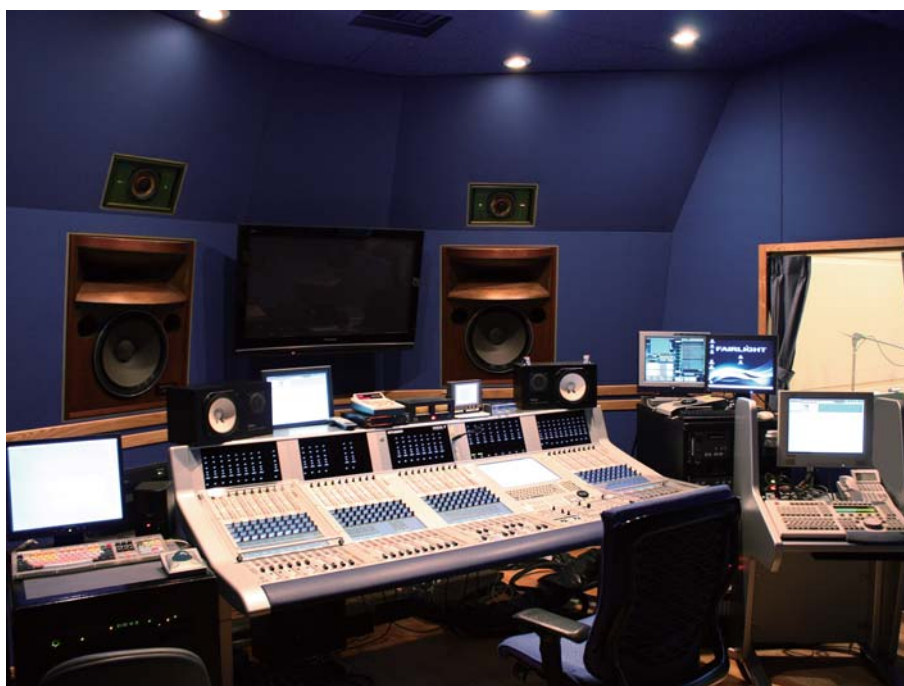
VISTA 7 ユーザーレポート

株式会社千代田ビデオ 様

VISTA 7



道玄坂に移転、2台目のVISTAを導入



■ 3one MA-2

株式会社千代田ビデオ
営業本部 デジタル営業センター
編集MAグループ
斎藤 健二

スチューダーを選択した理由

当社のMA室はそれまで1室運用で業務過多に陥っていたため、2002年にMA室の増設を計画、当時まだそれほど多くなかったサラウンド対応のシステムを構築するにあたって、その中心に当時発表されたばかりのVISTA 7を導入することになりました。今回、当編集センターが道玄坂への移転計画を進めるにあたり、旧来から使用していたSONY製DMX-S6000の老朽化にともなう更新機として、VISTA 7最新Ver.を選択しました。理由は、勿論スチューダー・ジャパンブロードキャストに対する絶大な信頼感もありますが、2部屋の間をなるべく近づけたかったということ、営業しながらの移転だったため、ミキサー要員の負担を極力軽減させたかったことなどがあります。MA室のスペースがあまり広くとれなかったため、以前から使用している50フェーダータイプではなく、フェーダーベイを1つ減らした40フェーダータイプを入れていただきました。筐体のフレキシブルな対応もVISTA7の美点だと思います。VISTA 7はユーザーインターフェースに優れ、瞬

時に状態を把握できる視認性の良さと抜群の拡張性を持っているので、安心・確実に作業できる我々にとっての頼れる相棒です。

完成したスタジオの雰囲気、その他感想

今回の移転にあたり、MA室の主な変更点は、
① それまでのワークであったβ camVTRから、Fairlight社のPyxisHDというNonlinearシステムへの移行
② HDMI接続によるモニター環境
そして、
③ 音声卓の更新
でした。

移転したビルフロアの天井がかなり高いため、MA室も天井高に余裕を持たせた設計が可能となり、床面積の割りに開放感あふれる雰囲気に仕上がりました。音響特性にも優れています。また、移転時にはスタジオ運用をなるべく止めない営業方針でのスケジュールの中、スチューダーの技術の方々にギリギリまで音声卓のセッティングをしていただき、感謝しています。

当社では、あらゆるジャンルの番組制作はもとより、音声素材の収録、作成や、フォーマット変換まで、音声全般にわたり手がけているため、運用開始後も、実際の作業をしてみて初めて気づく

ことが多く、そのたびに迅速な対応をしていただき、ありがとうございました。

スタジオの仕様

MA-1

Digital mixing console :

VISTA 7 (50Faders) STUDER

Digital audio workstation :

DREAM SATELLITE Fairlight

ProTools Ver7.3 digidesign

Monitor speaker : RM-4BC REY AUDIO

Surround monitor : RM-17 REY AUDIO

Synchronizer : SRX-3000 TAMURA

Work nonlinear : Pyxis HD Fairlight

Digital effector : 960L LEXICON

system6000 t.c. electronic

MA-2

Digital mixing console :

VISTA 7 (40Faders) STUDER

Digital audio workstation :

mfx-3 plus Fairlight

ProTools Ver7.3

Monitor speaker : model2402 EXCLUSIVE

Synchronizer : SRX-3000 TAMURA

Work nonlinear : Pyxis HD Fairlight

Digital effector : 480L LEXICON